

THE MEIJI 150 FES.

うちの館・明治 150 年フェスティバル・2

松岡徳郎フルート&オカリナコンサート

平成 30 年 9 月 22 日（土）午後 1 時～2 時 30 分

1000 円（入館料を含む）要予約

お食事ご希望の方は別途 1000 円でお弁当（お茶付）をご用意します



明治時代に
子供のために
訳された物語
と音楽と共に
振り返ってみ
ましょう

午後 1 時～朗読とオカリナ演奏

福澤諭吉著「童蒙教へ草（どうもうおしえぐさ）」より

福澤が咸臨丸に乗って渡米した際入手したウェブスターの辞書を使って翻訳したという「童蒙をしへ草」（どうもうおしえぐさ）の中から数編の朗読をオカリナの伴奏でお届けします。明治時代の子供たちに何を伝えようとしていたのか。優しいオカリナの音と共にお楽しみ下さい。

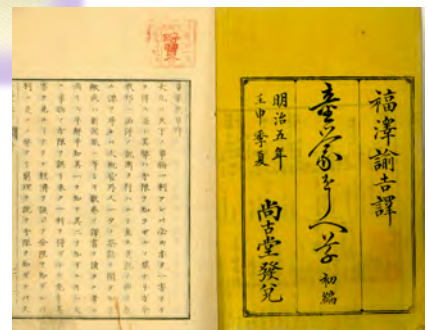
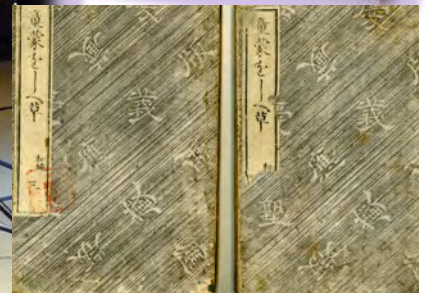
現代語訳 川村優理

朗読 宮内厚子 オカリナ 田中悦子・村井晴美

午後 1 時 30 分～2 時 30 分

松岡徳郎フルート&オカリナコンサート

奈良市吹奏楽団を率いる松岡徳郎さんによるフルートとオカリナのコンサート。古い館の窓から見える風景の中を、雲がゆっくりと流れていきます。



「童蒙をしへ草」（初編）

福澤諭吉

明治 5 年壬申季夏

尚古堂発兌（藤岡家所蔵）



登録有形文化財「藤岡家住宅」うちの館（やかた）

〒637-0016 奈良県五條市近内町 526 ・ ☎ と fax 0747 (22) 4013

info@uchinono-yakata.com ホームページはうちの館で検索してください。

コンサートでの朗読内容（一部）福沢諭吉作『童蒙教え草』より

これは、福沢諭吉が、明治五年三月に著した「童蒙教え草（どうもうおしえぐさ）」から、数編を現代の言葉に書き換えたものです。

福沢諭吉は、天保5年（1835年）大坂の堂島浜にあった備前国中津藩の蔵屋敷で、武士の子として生まれました。安政6年（1859年）、咸臨丸でアメリカ合衆国に渡ったとき、ジョン万次郎と共に「ウェブスター大辞書」を手に入れ、日本に持ち帰って、アメリカやイギリスの書物を日本語に翻訳しました。

「童蒙教え草」は、イギリスの「ザ・モラルクラスブック」を、明治時代の日本の子どもたちのために翻訳した道徳の本です。

子どもとカエルとのこと（巻の一 第一章の い）

カエルたちが住んでいる池のまわりに、大勢の子どもたちが来て、池の中へ小石を投げ始めました。

二つ投げ、三つ投げして、とうとう数百の小石が一時に水に落ちました。

困ったのは、家のカエルです。

「このままでは、池のカエルはみんな死んでしまうぞ。」

おろおろするばかりです。

とうとう、一匹のカエルが勇気を出して、降ってくる小石の中に立ち上がり、大きな声で言いました。

「子どもたちよ。どうしてそんなに悪いことをするのか。君たちにとっては、ただのいたずらだろうが、われわれカエルには、一命を失うかもしれない一大事なんだ。物事の道理をよくわきまえろ。」

ネズミ、その親を背負うこと（巻の一 第二章の い）

人間が嫌う生き物でも、親孝行の教えとなることがあります。

たとえば、ネズミです。

その場合には、ネズミとりや毒を使って殺します。

あるとき。

アメリカのニューヨークからポルトガルの湾岸へ、酒を摘みに行く船がありました。

船の中でネズミの数が増え、船の食料を食い、道具に傷をつけ、その被害は大変なことになってしまいました。

船員たちは怒って、ネズミを退治し尽くそうとがんばりましたが、航海している間は、なかなか、退治してしまうことができませんでした。

そこで、船が、無事にポルトガルの港に着くやいなや、船長の指図で船の底に硫黄を燃やし、その煙が絶えないようにして、方々の穴に逃げ込むネズミを残らず撃ち殺しました。

もう、これで一匹もネズミは残っていないだろうと思ったときです。

一匹のネズミが、背中に大きいネズミを背負って、甲板の上によろよると出てきました。

背負われているネズミは、その毛も白く、もう、目が見えないほど年老いているようすです。

それは、背負っているネズミの親でした。

船員たちは、たとえネズミでも、その親孝行のようすを見て、このネズミたちを殺してはいけないと思い、二匹を逃してやりました。



展示のご案内

「文房具展」～文人たちの跡～

7月1日（日）～9月22日（土）展示室にて

文房とは書斎のこと。書斎で用いられていた道具と、森鷗外の扁額などを展示します。

「明治の楽器展」

6月3日（日）～母屋にて

明・清楽に用いられていたと言われる片鼓、太鼓、月琴の楽譜などを展示します。開館10周年記念「琴と尺八の宴（うたげ）」…11月11日（日）開催予定…では、藤岡家所蔵の琴や三味線も用いて、楽譜の音曲を復元演奏します。

10月～12月は「明治150年展」

明治天皇の肖像、御即位時の記録などを展示予定

